

生物資源研究シリーズ企画趣旨 - 刊行に寄せて -

特定非営利活動法人 農学生命科学研究支援機構

生物資源の利用に関する研究領域は、非常に広範囲にわたり、しかも研究の進展に伴いさらに研究分野の専門分化が進み、細分化された研究の内容はそれぞれに高度化し、本来は総合化が求められている研究対象であるにもかかわらず、全体として複雑を極めることとなります。

そのため、最新かつ重要な研究成果が、その多くは極端に狭い範囲の専門家の間でしか知られず、社会への浸透はおろか、関連する専門家ですら研究成果を活用できないという弊害が生じがちです。また、本来は研究者自身が、その研究成果について広く社会に説明を行う責任があるものの、その機会や手段が非常に限られているのが現状です。

そこで、第一線の研究者による最新の研究内容を、関係者のみならず広く一般の方にも良くご理解をいただき、その研究成果を社会で有効にご活用いただくことを目的として、「生物資源研究シリーズ」の刊行を企画いたしました。

資源循環型社会を実現させるためには、理想的な資源である再生可能な生物資源の有効利用が欠かせません。このシリーズが、生物資源利用技術の一層の発展のための一助として、今後ますます活用されることを願ってやみません。